

上三川町学校部活動地域展開だより

NO. 7

発行：上三川町教育委員会事務局
発行月：令和7年10月
連絡先：生涯学習課 56-9159
教育総務課 56-9156

第1回部活動地域展開推進協議会

令和7年度第1回部活動地域展開推進協議会が令和7年9月27日（土）にORIGAMIプラザ上三川日産ホールにて開催されました。

推進協議会は、上三川町立中学校の部活動の地域展開及び地域クラブ活動の円滑な運営等について協議するものです。

各中学校長、部活動代表教員、学識経験者、各種団体代表、保護者（地域クラブ参加保護者）、地域クラブ指導者など、委嘱された15名の委員のもと、部活動地域展開の現状や地域クラブ拡充に向けての方策など、熱心な協議がなされていました。



協議では、前半に委員長と副委員長を選出を行いました。また、本町における部活動の地域展開基本方針及び地域クラブの現状について説明をしました。

後半は、前半で説明した実施状況を踏まえつつ、グループ協議を行いました。協議テーマは、以下の通りです。



1 部活動地域展開を拡充する工夫

2 競技種目がない学校における平日の生徒の活動

3 本町の部活動地域展開に関する推進状況

部活動地域展開協議会の様子

グループ協議では、多方面からの様々な意見が出されました。特に、「1部活動地域展開を拡充する工夫」と「2競技種目がない学校における平日の生徒の活動」が中心となりました。

1 部活動地域展開を拡充する工夫

- ・教育的要素を強くする。
- ・勝利主義ではなく、全員が試合等に出場できるようにする。
- ・種目を好きになる指導、活動とする。
- ・小学校～高校までのつながりを強化する。
- ・合同チームから地域クラブに移行するよう努める。
- ・ニュースポーツ、ダンス、クライミングなど種目数を広げる。
- ・指導者が続けていけそうな体制を整える。
- ・吹奏楽は土日の活動だけでは難しいと。また、楽器の準備、保管も課題である。
- ・町の施設を活用し、平日も実施するとよいのではないか。
- ・部外者が入ることをためらうケースがある。（特にチーム競技）
- ・大会出場枠の問題（特に途中からの変更は要説明）

2 競技種目がない学校における平日の生徒の活動

- ・リモートなどで、合同練習（個人練習）できないか。
- ・他の種目とのトレーニング（基礎練習）などの工夫をする。
- ・地域の指導者に指導資格を与える。
- ・学校の授業後に移動して練習に行くことはどうか→安全面を考えると難しい。
- ・平日の練習内容は生徒が決める。活動の場を作り、教員等が安全面を見る。

「種目を好きになる活動」「小学校から高校までのつながり強化」「合同チームから地域クラブに移行」など、貴重な意見を数多くいただき、今後の参考としたいです。

部活動がない学校における平日の生徒の活動をはじめとした課題も山積しており、克服しなければなりません。しかし、本町の基本方針の目標である「生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しみ、主体的に活動すること」「豊かな人間性を育むこと」を地域ぐるみ（学校や地域、指導者、事務局等）で実施していくことを念頭に取り組んでいきます。



はばたけ！上三川町地域クラブ！！

上三川ユナイテッド FC



上三川ユナイテッド FC は2年生10人、1年生9人計19名で活動しています。指導者は中学校教員2名と地域指導者の3名です。

活動場所は、町内中学校グラウンドです。

チーム名は、現3年生、2年生から応募し、生徒の最終投票によって上三川ユナイテッド FC に決定しました。

総合体育大会後、休日の全ての活動を上三川ユナイテッド FC として活動し、宇河地区新人大会にも出場し、ベスト8となりました。



生徒同士は昨年から共に活動していたため、活動内外でのコミュニケーションもバッチリです。毎週、他校の中学校との練習試合を精力的にこなし、自分たちのチームの良さを把握しながらプレーしています。

今後の活躍がとても楽しみです。

※次回は、上三川町地域クラブ（陸上）を紹介します。

町ホームページに部活動地域展開に関する情報を掲載しています。

